

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産等の減価償却の方法

什器備品は定率法、ソフトウェア及び商標権は定額法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 担保に供している資産

担保に供している資産はない。

3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は次のとおりである。

(単位 : 円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	2,890,965	2,229,353	661,612
ソフトウェア	1,708,350	1,025,010	683,340
電話加入権	473,352	0	473,352
商 標 権	2,486,220	1,314,482	1,171,738
敷 金	4,526,800	0	4,526,800
合 計	12,085,687	4,568,845	7,516,842

4. 保証債務

保証債務はない。

5. その他

一般正味財産 129,914,940 円

(うち基本金 74,254,711 円 正会員入会金相当額として、当年度基本金繰入 2,240,000 円)

(うち積立金 23,300,000 円 将来の経費増加に備えて積立金相当額を計上している。)

(うち当期正味財産増加額 10,786,716 円)

以上